

県央ブロックごみ処理広域化 新しいごみ処理施設の整備について

住民説明会等で地域の皆さんから寄せられた主なご意見・ご質問への回答や考え方、これからの取組などをお知らせします。



令和2年11月

県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会

盛岡広域8市町と、関係一部事務組合で構成する「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」は、平成27年1月に策定した「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」に基づき、圏域におけるごみ処理を広域化し、新しいごみ処理施設を整備することを目指して取り組んでいます。

協議会では、平成29年5月に、新しいごみ処理施設の整備候補地4か所を公表し、平成31年3月には「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地としましたが、この間、各整備候補地で住民説明会や懇談会を開催するなど、地域の皆さんと意見交換を繰り返し行ってきました。

住民説明会や懇談会では、ごみ処理広域化の目的や内容、施設周辺の影響、広域化によってごみの分け方や出し方がどのようになるのか…など、様々なご意見やご質問が寄せられています。

この冊子は、これまでに寄せられた主なご意見やご質問と、これらに対する回答や考え方、そして、これからの取組などをまとめたものです。

今後も、ごみ処理広域化や施設整備について、より多くの皆さんと意見交換を重ねていきたいと考えていますので、ご意見やご質問をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和2年11月 県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会




目次

I	これまでの主な経過	P 1
II	主な意見や質問への回答・考え方	
1	ごみ処理広域化について	P 2
2	ごみ処理施設の整備候補地の選定について	P 4
3	環境への影響について	P 6
4	交通対策について	P 8
5	災害対策について	P 10
6	整備予定地の決定について	P 11
7	まちづくりについて	P 12

I これまでの主な経過

年 月	内 容
平成9年5月	厚生省環境整備課長通知「ごみ処理の広域化について」
平成11年3月	「岩手県ごみ処理広域化計画」策定
平成12年11月	「盛岡ブロックごみ処理広域化準備協議会」設立 (会長 盛岡地方振興局保健福祉部長)
平成22年3月	「県央ブロックごみ処理広域化のための基礎調査」報告書
平成23年1月	「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」設立(会長 盛岡市長)
平成24年12月	「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想骨子」策定
平成26年2月	「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」の中間報告
平成27年1月	「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」策定
平成27年8月	「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」設置
平成29年3月	「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会報告書」が提出される。
平成29年5月	「ごみ処理施設整備候補地」4か所を公表
平成30年3月	「岩手県ごみ処理広域化指針」策定
平成30年8月	『盛岡インターチェンジ付近』及び『都南工業団地付近』の2か所を「地域住民や関係者との協議を優先的に継続実施する候補地」として選定
平成31年3月	『盛岡インターチェンジ付近』を「最も有力な整備候補地」として選定

○整備候補地「盛岡インターチェンジ付近」における住民説明会等の開催状況

年月日	実施内容	対象町内会	参加者	開催概要
平成29年7月7日	住民説明会	土淵地区2町内会 (前潟自治会、上厨川自治会)	42名	
平成29年10月17日	住民説明会		47名	
平成30年11月16日	懇談会※ ¹	土淵地区全6町内会	104名	
平成31年1月20日	懇談会※ ¹		89名	
平成31年2月19日 平成31年2月21日	秋田市総合環境センター施設見学		68名	
平成31年3月20日	住民説明会	太田地区全11町内会	109名	
令和1年5月26日	懇談会※ ¹	土淵地区全6町内会	77名	
令和1年7月29日	仙台市松森工場施設見学		50名	
令和1年9月14日	武蔵野クリーンセンター・さいたま市桜環境センター施設見学		13名	
令和1年9月18日	住民説明会	太田地区全11町内会	74名	
令和1年9月21日	シンポジウム※ ²	土淵地区全6町内会	70名	
令和1年11月29日	住民説明会	太田地区全11町内会	55名	

説明会等の概要は、こちらからご覧になれます。

※1 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

⇒ ごみ処理施設の整備を含む地域のまちづくりをテーマとして開催

※2 シンポジウム「廃棄物エネルギーを活かしたまちづくりと住民参加」

⇒ エネルギー利活用やまちづくりをテーマに、専門家の講演、ディスカッションほか

広報もりおかの掲載記事は、
こちらからご覧になれます。

令和元年
11月15日号 ⇒



令和2年
8月1日号 ⇒



Ⅱ 主な意見や質問への回答・考え方

1 ごみ処理広域化について

Q1 なぜ、ごみ処理施設を1つに集約化する必要があるのか。

○ ごみ処理広域化のきっかけ

国は平成9年に、全国の都道府県に対し、ダイオキシンなどの有害物質の発生を抑制するため、市町村のごみ焼却施設の集約化を進めるよう通知しました。

これを受け、岩手県は平成11年に「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定し、県内を6ブロックに分け、ブロックごとに施設を集約することとしました。

この中で、盛岡広域8市町は「県央ブロック」として位置づけられています。

○ 県央ブロックの状況

盛岡広域8市町は、平成27年1月に「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」を策定し、ブロック内の共通課題を踏まえ「既設6施設の建て替え」と「1施設集約化」を比較し、費用や環境負荷の低減化が期待される1施設集約化を目指すこととしました。

県央ブロック内のごみ焼却施設



①葛巻町清掃センター
平成5年～（10 t/日）

②八幡平市清掃センター
平成10年～（50 t/日）

③岩手・玉山清掃事業所
平成9年～（28 t/日）

④滝沢清掃センター
平成14年～（100 t/日）

⑤盛岡市クリーンセンター
平成10年～（405 t/日）

⑥盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター
平成15年～（160 t/日）

共通課題① **焼却施設の老朽化**

共通課題② **施設更新の財政負担**

⇒ 人口減少に伴い、更に効率的なごみ処理が求められる。

共通課題③ **施設規模の見直し**

⇒ ごみ焼却量が減少し、施設規模が過大になっている。

現施設を建て替える？ または 施設を集約化する？



費用・環境両面でのメリットがある
「1施設集約による広域処理」
を目指す。

【盛岡広域8市町の人口推計】

平成30年 約47万人（10月）※¹

令和11年 約43万人※²

令和21年 約39万人※²

…21年間で約8万人（約17%）の減少

⇒ 効率的運用に十分配慮しながらごみ処理を行う必要がある。

※¹ 岩手県毎月人口推計より

※² 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に試算

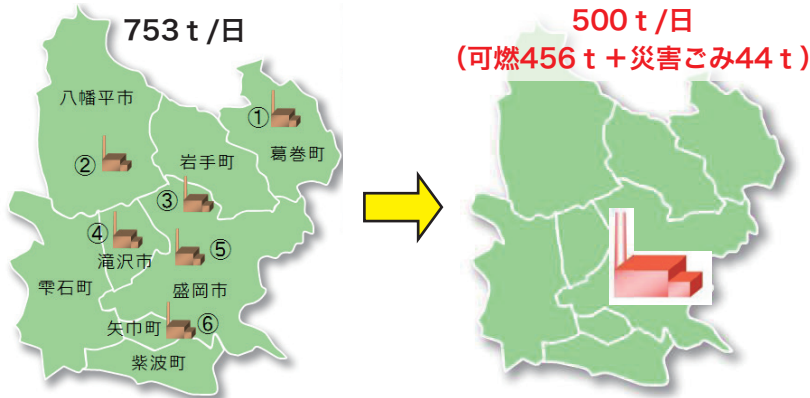
Q2 ごみ排出量は減少していくのに、なぜ現在よりも大きなごみ焼却施設が必要なのか。

○ **ごみ焼却施設の施設規模**

新たなごみ焼却施設は、令和11年度からの稼働を目指しています。

令和11年度のごみ焼却量を推計すると、1日当たり「456 t」の処理能力が必要になり、これに、災害廃棄物の受入れを考慮して「44 t」の能力を加え、新たなごみ焼却施設の規模（処理能力）は、1日当たり「500 t」としています。

現盛岡市クリーンセンターの「405 t」に比較すると、施設規模は大きくなりますが、県央ブロックの現在の6施設の処理能力の合計「753 t」と比べると小さくなり、1施設集約化にあわせて、施設規模の適正化を目指します。



【参考】

全国のごみ焼却施設数

(平成10年度) 1,769施設 → (平成30年度) **1,082施設**

※「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」(環境省)より

【ポイント】 盛岡市クリーンセンターの処理能力は「405 t /日」ですが、平成30年度の焼却処理量は「198 t /日」であり、適正規模への見直しが必要となっています。

Q3 ごみ処理広域化は住民のごみ減量への意識が低下する。3R（発生抑制・再使用・リサイクル）を徹底した上で施設規模を判断すべきではないか。

これまで…

各市町がそれぞれに、「一般廃棄物処理計画」に基づいて、3Rに取り組んできました。

広域化に向けて…

「循環型社会形成推進地域計画」や「ごみ処理基本計画」を策定し、ブロック全域における3Rの目標・施策を定めます。

各市町は、自区内の3Rの目標達成のための取組を進めます。

広域化の下では…

各市町は、地域特性を踏まえ、自区内におけるごみ減量・資源化の取組の充実・強化を図るとともに、市町間で緊密に連携しながら、ブロック全域における3Rの推進に取り組めます。

【ポイント】 新たなごみ焼却施設の規模（処理能力）は、ブロック全域におけるごみ減量目標や、その推進の状況に応じて、見直しをします。

Q4 国のごみ処理広域化の方針は、すでに見直されたのではないか。

○ ごみ処理広域化に関する国から都道府県への通知

「ごみ処理広域化計画について」（平成9年5月通知）

⇒ ダイオキシン対策、効率的な余熱利用、公共事業のコスト縮減等を踏まえ、「広域化計画」の策定を求める内容

「持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について」（平成31年3月通知）

⇒ 持続可能な適正処理確保、効率的なエネルギー回収、災害対策などに留意の上、市区町村と連携して「広域化・集約化計画」の策定を求める内容

【ポイント】 ごみ処理広域化・施設の集約化を推進する方向性は変わっていません。

2 ごみ処理施設の整備候補地の選定について

Q5 候補地の選定はどのように行われてきたのか。

① 平成27年1月 「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」

新たなごみ処理施設を「盛岡市内」に整備する方針を示しました。

※盛岡市… ブロックのほぼ中心に位置し、ごみ排出量が全体の64%

② 平成27年9月～29年3月 「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」

学識経験者・住民代表・関係団体の役職員で構成される委員会で、13回の検討を行い、整備候補地3か所（「都南工業団地付近」「盛岡インターチェンジ付近」「盛岡市クリーンセンター敷地」）を選定しました。

選定段階	選定の内容等	候補地数
第1次選定 (平成27年9月 ～平成28年7月)	次の「立地回避要件」への該当地を除外 ○保安林区域 ○土砂災害危険箇所 ○埋蔵文化財包蔵地 ○開発許可区域 ○主要道路から1km以上 ○浸水想定区域 など	466か所 ⇒ <u>60か所</u>
第2次選定 (平成28年10月)	簡易評価と客観的評価を実施 ○アクセスの容易性 ○収集、運搬の効率性 ○用地取得の可能性 ○地質、地形 など	60か所 ⇒ <u>17か所</u>
第3次選定 (平成28年11月)	1次総合評価を実施。併せて現地調査を実施	17か所 ⇒ <u>9か所</u>
第4次選定 (平成29年1～3月)	2次総合評価を実施	9か所 ⇒ <u>3か所</u>

③ 平成29年4月 「施設整備に関する要望書」

「盛岡南インターチェンジ付近」への施設整備に関する要望書が提出されました。

④ 平成29年5月 「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」

「整備候補地4か所」を決定し、公表しました。

- 盛岡南インターチェンジ付近
- 盛岡インターチェンジ付近
- 都南工業団地付近
- 盛岡市クリーンセンター敷地

⑤ 平成30年8月 「地域との協議を優先して継続する2候補地の選定」

平成29年7月から4候補地で住民説明会や懇談会等を開催する中で、地域住民や関係者から寄せられた意見等を踏まえ、「都南工業団地付近」と「盛岡インターチェンジ付近」を、地域との協議を優先して継続する候補地としました。

⑥ 平成31年3月 「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」

整備予定地の選定要素を総合的に評価し、**「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な整備候補地として選定**しました。

- 整備予定地の選定要素
 - ・ 地域住民や関係者の意見等
 - ・ 整備の確実性（地権者の状況など）
 - ・ 整備運営上の諸条件（整備費用など）

☞ 「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地とし、地域との協議を優先して継続する。

☞ 整備予定地としての決定については、今後、地域との協議の状況等を踏まえて、慎重に、かつ、総合的に判断する。



令和元年9月21日に開催したシンポジウムの様子です。廃棄物処理や、エネルギー利活用などについて、様々な事例が紹介されました。

3 環境への影響について

Q6 ごみ焼却施設の排ガスに含まれる有害物質が心配だ。

○ 盛岡市クリーンセンター煙突出口の排ガス濃度測定結果

盛岡市クリーンセンターでは、地域住民との協議により国が定める排出基準より排出濃度を低くした、より厳しい基準を定めて運転管理を徹底しています。

測定項目	排出基準 (国の基準)	クリーンセンター		
		協定値 (自主基準)	測定値 (令和元年度)	
ばいじん (g/Nm ³)	0.08	0.01	0.000	1～3号炉の 年平均値
硫黄酸化物 (ppm)	1,592	10	0.4	
窒素酸化物 (ppm)	250	100	41.8	
塩化水素 (ppm)	430	10	3.6	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	1	0.1	0.0018	1～3号炉の最大値

ppm (ピーピーエム) : 成分比や濃度を表す単位で100万分のいくつに当たるかを示す
 ng (ナノグラム) : 10億分の1グラムのこと
 TEQ : 毒性等量 (ダイオキシン類の中で最も毒性の強い物質に換算した値)

【ポイント】 新しいごみ焼却施設でも、地域との協議により設定する排出基準を遵守し、適正な運転管理を行っていきます。

Q7 ごみ焼却施設周辺の大気汚染が心配だ。

○ 盛岡市クリーンセンター周辺と市内の一般環境地点の大気環境

盛岡市内での大気環境測定結果は次のとおりであり、クリーンセンター周辺、津志田地内とも測定結果に大きな差はなく、両地点とも環境基準を下回っています。

測定項目	環境基準 (国の基準)	測定値 ^{*1}			備考
		クリーンセンター周辺		一般環境 津志田 ^{*2}	
		松園	上米内		
二酸化硫黄 (ppm)	0.04	0.003	0.002	0.002	日平均 の年間 最大値
二酸化窒素 (ppm)	0.06	0.016	0.010	0.011	
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.10	0.044	0.047	0.048	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	0.60	0.011 ^{*3}		0.014	年平均

pg (ピコグラム) : 1兆分の1グラムのこと
 ※1 直近の測定結果を掲載しており、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は平成30年度、ダイオキシン類は平成29年度のものであります。
 ※2 測定場所は、盛岡市役所都南分庁舎です。
 ※3 測定場所は、盛岡市上田字小鳥沢です。

【ポイント】 新しいごみ焼却施設でも、周辺環境の定期的なモニタリングを行い、測定データをお知らせしていきます。

Q8 ごみ焼却施設からの悪臭が心配だ。

ごみピット



ピット内の空気は、焼却炉内のごみ燃焼用の空気として使用しており、臭気は熱で分解されます。

搬入口



自動扉やエアーカーテンを設置し、また、施設内の気圧を低く保ち、臭気が外に漏れないようにしています。

【ポイント】 新しいごみ焼却施設でも、十分な臭気の流出防止対策を講じます。

Q9 ごみ焼却施設周辺の小中学校では、児童・生徒のぜん息り患率が高いと聞いている。健康被害が心配だ。

○ 盛岡市クリーンセンター周辺の小中学校のぜん息り患率

…「学校保健統計調査」(文部科学省)より

クリーンセンター周辺の小中学校では、市内や県内の平均を上回る年度もありますが、年度間の変動も大きく、この調査結果から「ごみ焼却施設」が「ぜん息」の原因と特定することは難しいと考えられます。

(%)

小学校		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年
盛岡市クリーンセンター周辺	米内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	松園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北松園	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	東松園	5.6	6.3	5.9	5.0	0.0	7.3
市平均		2.13	2.48	1.33	1.95	0.95	1.60
県平均		3.60	3.50	2.50	3.90	2.90	2.92
全国平均		3.88	3.95	3.69	3.87	3.51	3.76

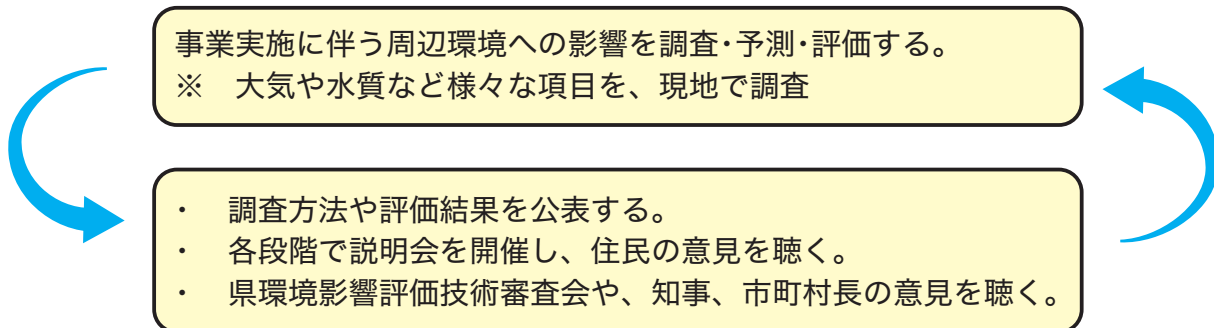
中学校		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年
盛岡市クリーンセンター周辺	松園	2.1	2.0	1.8	0.4	0.0	9.9
	北松園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	米内	3.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
市平均		1.43	1.85	1.53	1.49	1.30	1.66
県平均		2.00	1.80	1.50	3.10	3.40	1.82
全国平均		3.03	3.00	2.90	2.71	2.71	2.84

【ポイント】 総務省が設置する「公害等調整委員会」において、都市部を含め、「ごみ焼却施設」が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はありません。

Q10 環境への影響の評価はいつ、どのように行うのか。

○ 環境影響評価（環境アセスメント）とは

道路の新設や宅地開発、ごみ処理施設の建設など大規模な開発事業などを行う場合に、事業実施に伴う周辺環境への影響を調査・予測・評価するものです。



○ 環境影響評価の実施時期

事業実施地が決定し、整備計画等により事業の細目を定めた上で、調査項目を整理し、環境影響評価に着手することになります。

○ 環境影響評価を踏まえた対応について

調査結果や住民等の意見を踏まえ、環境への影響を軽減するための対策を検討し、事業に反映していきます。

4 交通対策について

Q11 搬入車両の交通安全対策はなるのか。

○ 交通安全対策

施設周辺の交通環境への影響が生じないように、搬入時間を定め、搬入ルートを指定します。

- ① 搬入時間の設定
朝夕の通勤通学や帰宅時間を避けて設定します。

- ② 搬入道路の指定
搬入ルートとして、生活道路を通行しないルート指定します。



Q12 ごみを搬入する車両の増加によって、交通渋滞が発生するのではないか。

○ 搬入車両数の推計

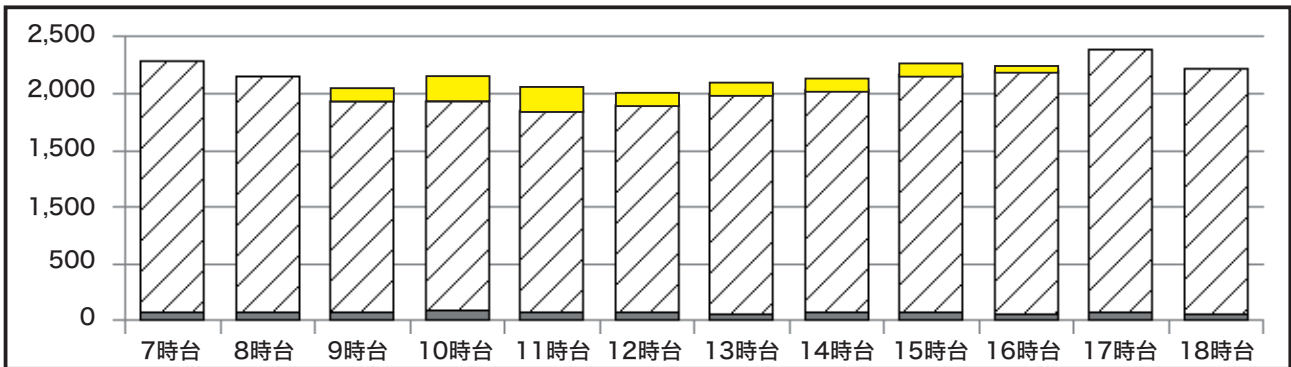
新たなごみ焼却施設への搬入車両は、ごみ収集車、中継施設からの運搬車、一般の車両を合わせて578台と推計しています。

盛岡市クリーンセンターの搬入台数を参考に、時間帯別の搬入搬出台数を、現在の国道46号の通行台数に加えると、次のとおりです。

国道46号交通量
前潟一丁目(イオン前)

大型車両
 小型車両
 搬入車両 (※増加分578台/日)

} 25,032台/日

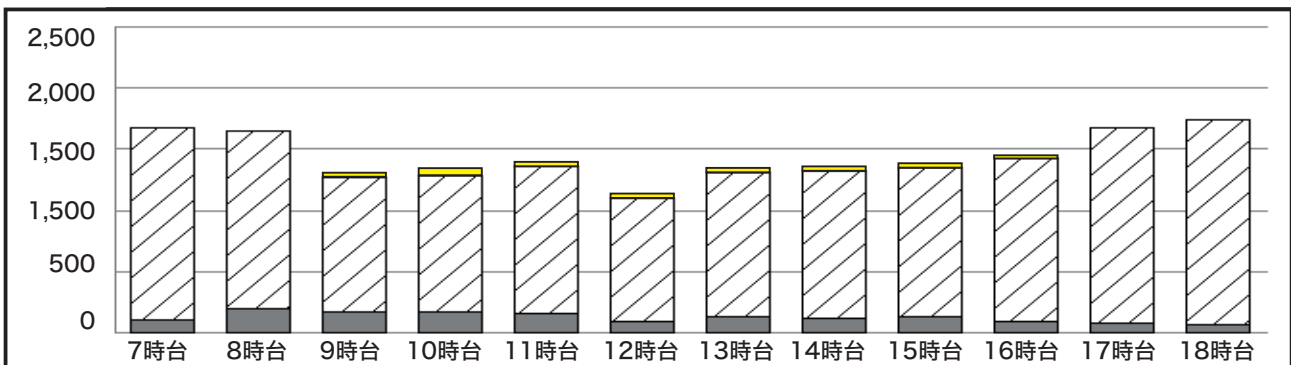


※ 大型車両・小型車両の台数は、国土交通省平成27年度全国道路・街路交通情勢調査による。

国道46号交通量
上厨川前潟 (西バイパス：前潟から太田方面)

大型車両
 小型車両
 搬入車両 (※増加分188台/日)

} 17,140台/日



※1 搬入等想定578台のうち、西バイパス通行車両を188台と見込み、交通量を推計

※2 西バイパスの通行見込みは、盛岡市(仙北、本宮、向中野、鹿妻、太田、猪去、都南)、矢巾町、紫波町からのごみ収集車台数と一般車両台数を想定

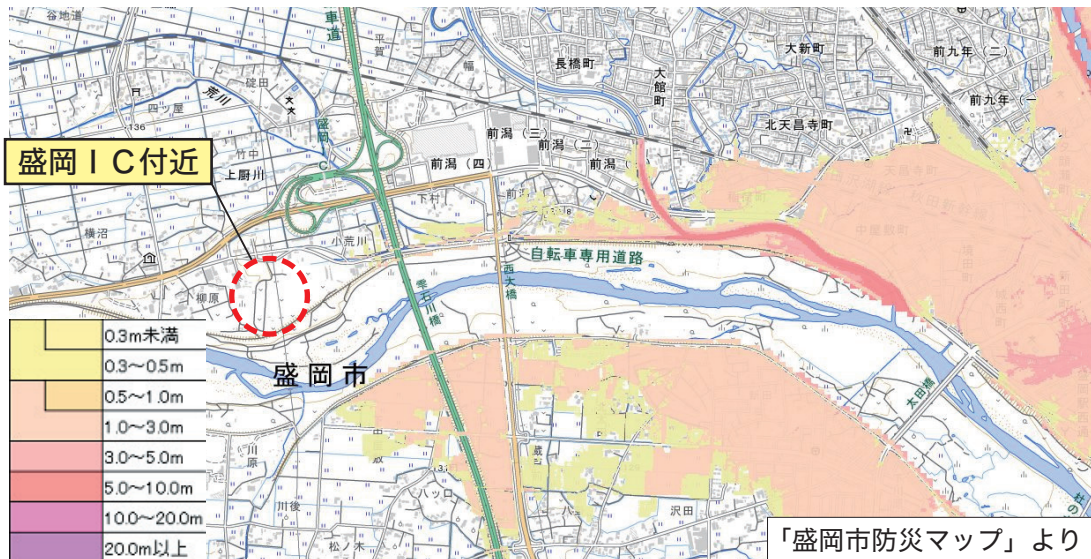
【ポイント】 交通量の増加割合は前潟一丁目約2.3%、上厨川前潟(西バイパス)約1.1%と見込まれ、それほど大きな増加にはならないと予想しています。

今後実施する環境影響評価の中でより詳細な推計を行い、交通渋滞などによる周辺への影響が生じないように、適切な対策を講じていきます。

5 災害対策について

Q13 最も有力な候補地（盛岡IC付近）は、浸水被害の心配はないか。

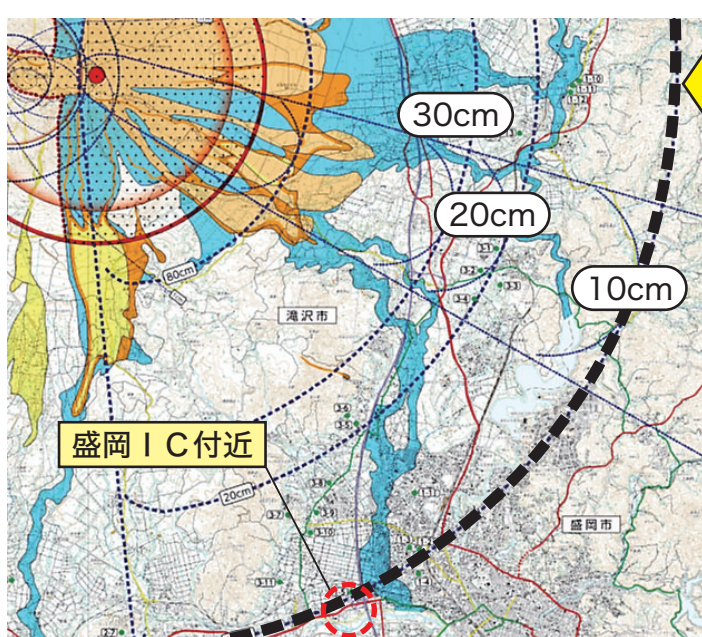
- 洪水浸水想定区域



【ポイント】 「盛岡IC付近」は浸水想定区域ではありませんが、施設整備の検討の中で、想定災害への十分な対策を検討し「災害に強い施設」を目指します。

Q14 岩手山の噴火など、洪水以外の影響は検討されているか。

- 岩手山火山防災マップ



「盛岡IC付近」は、岩手山噴火時に、約10cmの降灰が想定されるエリアです。

他県の降灰のある地域では、換気空気の入入口へのフィルター設置などの対策を講じており、施設の運転に支障は生じていません。

【ポイント】 想定災害への十分な対策を検討し「災害に強い施設」を目指します。

6 整備予定地の決定について

Q15 反対の署名が寄せられている状態でも計画を進めるのか。

○ 地域住民の声

盛岡インターチェンジ付近」では、廃棄物エネルギーを有効に利活用しながら地域のまちづくりを総合的に進めていくことについて、地域住民との意見交換を繰り返してきており、施設整備やまちづくりを期待する意見が寄せられています。

その一方で、候補地周辺地域の住民、盛岡市内外の住民から、ごみ処理広域化や施設整備に反対する署名が提出されています。

○ 地域住民との対話

ごみ処理広域化や施設整備への反対意見があることを踏まえ、広域化の意義や施設整備の必要性について、引き続き丁寧に説明していく必要があります。

この冊子や、住民説明会・懇談会等を通じて丁寧に説明するとともに、地域住民との対話を重ねながら、広域化や施設整備への理解が広がるよう取り組みます。

【ポイント】 廃棄物エネルギーを利活用した地域振興やまちづくりについて、より具体的な内容を、地域住民と一緒に考えていくことができる状況を目指します。

Q16 整備予定地1か所を決定した後は、地域住民の意見をどのように取り入れていくのか。

○ 整備予定地決定後の地域住民との対話

施設整備に着手する前に、整備計画の策定や環境影響評価などを予定しており、各段階で、説明会やパブリックコメント等を実施し、意見を頂きます。

① 施設整備に関する計画の策定

懇話会や検討委員会を設置し、地域住民にも参加していただきながら、施設整備内容についての検討を行う予定としています。

また、施設整備計画の策定に当たっては、パブリックコメントを実施し、多くの住民意見を計画に反映する予定としています。

② 環境影響評価（環境アセスメント）

施設が周辺環境に与える影響をあらかじめ調査・予測・評価します。評価結果については、地域に説明し意見を聴くほか、縦覧を行い広く意見を募集します。

○ 住民説明会や懇談会の開催

整備予定地の決定後も、住民説明会や懇談会を開催し、施設の仕様や、廃棄物エネルギーの利活用などについて、地域住民との意見交換を行っていきます。

7 まちづくりについて

Q17 ごみ処理施設から発生するエネルギーを、「まちづくり」にどのように利活用していくのか。

○ 廃棄物エネルギーの利活用による地域振興・まちづくり

新たなごみ処理施設の整備に当たっては、環境影響の低減に関する最新の技術が採用された、地域防災拠点としての機能を備えた施設を目指すとともに、エネルギーを有効に利活用し、地域振興・まちづくりに貢献します。

エネルギーの利活用の方法については、全国での取組を参考にし、より具体的な内容を地域住民と一緒に考えていきます。

○ 候補地「盛岡インターチェンジ付近」での地域との話し合い等

① 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

全国におけるエネルギー利活用事例を紹介しながら、地域の総合的なまちづくりについて、話し合いを行っています。

② 他市の施設見学会の実施

地域住民の参加のもと、施設見学会を開催し、エネルギー利活用に関する様々な取組を学びました。

- 平成31年2月19、21日 秋田市総合環境センター
- 令和元年7月29日 仙台市松森工場
- 令和元年9月14日 武蔵野クリーンセンター
さいたま市桜環境センター

仙台市松森工場見学会



施設概要やエネルギー利活用などについて学びました。

③ シンポジウム「廃棄物エネルギーを活かしたまちづくりと住民参加」

専門家による講演の中で、エネルギーの利活用によるまちづくりや、住民参加などについての様々な事例が紹介され、意見交換が行われました。

(令和元年9月21日開催)

講演「ごみ処理施設とまちづくり」

「地域貢献に向けた廃棄物エネルギー利活用計画について」

「地域に開かれた施設と廃棄物エネルギーの利活用」

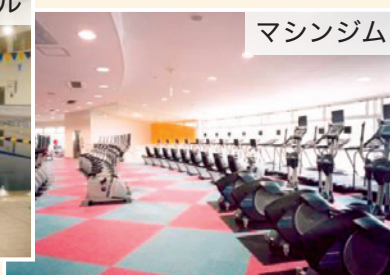


廃棄物エネルギーを有効に利活用し、まちづくりに貢献することができるよう、地域住民や関係者との話し合いを継続します。

ごみ処理施設の整備にあわせて、周辺エリアの土地利用や環境整備を進めることとし、地域住民とともに、まちづくりの目標・方針を検討していきます。

全国のごみ処理施設の取組を見てみよう

○仙台市松森工場 ～熱エネルギーを「スポパーク松森」に供給～



スポパーク松森は、松森工場の余熱を利用して運営しています。

温水プール、温浴施設、マシンジム、里山を再生したビオトープなど、家族連れや子供会行事などで利用できる施設が充実しています。

○武蔵野クリーンセンター ～地域に開かれたまちづくりに貢献～

街並みに溶け込む「武蔵野の雑木林」をイメージした外観。見学者用通路は、自由に見学でき、気軽にごみ処理の仕組みを学習できます。

周辺の公共施設に電気を供給。3R体験イベント、絵本やおもちゃの交換会、屋上菜園で育てた野菜の試食なども行われています。



○さいたま市桜環境センター ～3Rマーケットなどを併設～



大浴場などの「余熱体験施設」と、使わなくなった生活用品などの持ち込み・持ち帰りができる3Rマーケットなどの「環境啓発施設」が併設されており、多くの利用者で賑わっています。

○今治市クリーンセンター ～避難所機能を充実～

災害時に避難所として活用できるよう、発電や上下水道設備などを備えています。

平時から、避難所開設訓練を行っています。



○京都市南部クリーンセンター第二工場 ～バイオガス化を行っています～



生ごみなどの有機物を微生物の力でバイオガス化し、そのガスを燃料として発電しています。

残ったごみだけを焼却するので、焼却処理量を減らすことができます。

【ポイント】 廃棄物エネルギーの利活用を含めて、地域住民や関係者と話し合いながら検討を進め、皆さんに親しんでもらえる施設を目指します。

特徴のあるごみ処理施設は、
まだまだあります…



「富山地区広域圏クリーンセンター」

煙突が展望台

「富山地区広域圏クリーンセンター」

高さ100mの煙突には展望台があり、
富山湾や立山連峰など360度のパノラマ
ビューを楽しむことができます。



「広島市環境局中工場」

アート感覚で楽しめる

「広島市環境局中工場」

工場内部に見学可能な通路があり、ガラ
ス越しに実際に稼働している処理設備も見
ることができます。通路に樹木を植えて、
無機質な工場内部に新鮮さを出しています。



「大阪広域環境施設組合舞洲工場」

特徴的なデザイン

「大阪広域環境施設組合舞洲工場」

オーストリア・ウィーンまいしまの芸術家によ
る外観のデザインは、建物が地域に根ざ
して、技術・エコロジー・芸術の融和の
シンボルとなることを意図しています。

ご意見やご質問をお寄せください。

【お問合せ先】

県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会

住 所 〒020-8531 盛岡市若園町2-18

盛岡市環境部廃棄物対策課 ごみ処理広域化推進室内

電 話 019-613-8146

FAX 019-626-4153

E-mail gomikoiki@city.morioka.iwate.jp

県央ブロックごみ処理広域化に係るホームページ

http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/gomi_recycle/1020646/index.html